

気候情報

2006年3月の日本の天候

気温の変動大、日照少ない（北日本）

3月の天気概況

上旬には日本海の低気圧に向かって南から暖気が入るなどして気温の高い日が多かったが、中旬には一時冬型の気圧配置となり、所によっては大雪となったほか、東日本以西では気温が平年を下回るなど、気温の変動が大きかった。北日本と東日本・日本海側では、上・下旬には低気圧の影響を、中旬や月末には冬型の気圧配置となったことため降水量が多く、また、下旬に低気圧や前線の影響が大きかった南西諸島でも月降水量が多かった。日照時間は、低気圧の影響を受けやすかった北海道を中心に北日本でかなり少なかった。一方、上・中旬に高気圧に覆われることの多かった西日本・太平洋側と南西諸島では日照時間が多かった。

上旬：低気圧や前線が通り、天気は数日の周期で変わった。1日には南岸を通過した低気圧の影響で本州の広い範囲でまとまった量の雨となった。低気圧の通過後に寒気が入ることはあっても一時的で、晴れて気温が上がったり、日本海の低気圧に向かって南から暖気が入るなど気温の高い日が多かった。**旬平均気温**は、北・東・西日本では高く、南西諸島は平年並だった。**旬降水量**は、全国的に多かった。**旬日照時間**は、東日本日本海側、南西諸島が多かった。東日本太平洋側で少なく、北日本、西日本では平年並だった。

中旬：11日に日本の北を通過した低気圧はその後発達し、日本列島に寒気を引き入れた。このため、日本海側では一部で大雪となったほか、東日本以西の各地で気温が平年を下回った。また、16日、19日には日本付近を低気圧が発達しながら通過、各地で強い風が吹き荒れた。**旬平均気温**は、北日本では高く、東日本は平年並、西日本、南西諸島では低かった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側で多く、北・東日本太平洋側、西日本では平年並、南西諸島では少なかった。**旬日照時間**は、北日本、東日本日本海側で少なく、東日本太平洋側、南西諸島が多かった。西日本では平年並だった。

下旬：日本付近を低気圧がたびたび通った。このため、北日本では日照時間が少なかった。また、南西諸島では降水量が多く日照時間が少なかった。本州では低気圧の影響は小さく日照時間は多かった。28日から29日にかけて、日本の北と南を通過した低気圧が北海道付近で発達したことから、北日本では風雪が強くなり、また広く寒気が入ったため、29日には西日本でもサクラの開花後の季節外れの降雪となった。**旬平均気温**は、北日本では平年並、東日本、西日本、南西諸島では低かった。**旬降水量**は、北日本、南西諸島では多く、東日本日本海側では平年並、東日本太平洋側、西日本では少なかった。**旬日照時間**は、北日本では少なく、東日本日本海側では平年並、東日本太平洋側、西日本、

南西諸島では多かった。

3月の気候統計

月平均気温：北日本では高かった。北海道では平年を2℃以上上回ったところがあり、釧路（北海道）では3月の月平均気温の最高値のタイ記録となった。一方、東日本から南西諸島にかけては平年並だったが、寒暖の変動が大きかった。

月降水量：北日本と東日本・日本海側、および南西諸島では多かった。北陸地方から近畿地方の日本海側ではかなり多く、平年の150%以上となったところがあった。一方、東日本の太平洋側では少なく、西日本では平年並だった。

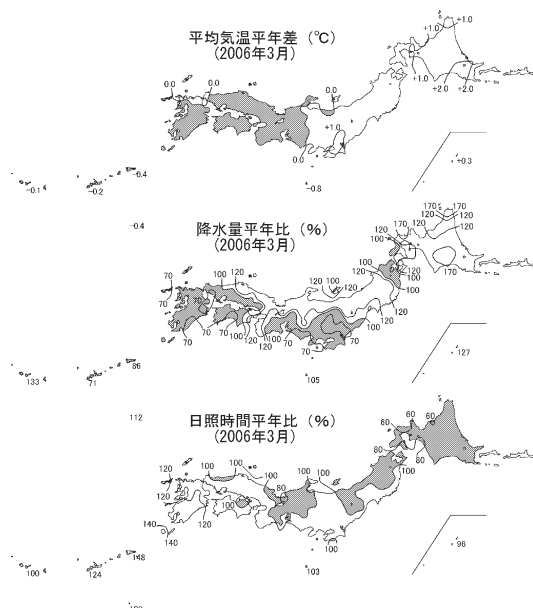
月間日照時間：北日本と東日本・日本海側では少なかった。特に、北海道ではかなり少なく、平年の70%未満のところが多かった。岩見沢、浦河（以上、北海道）では3月の月間日照時間の最小値を更新した。一方、東日本の太平洋側と西日本の日本海側では平年並、西日本の太平洋側と南西諸島では多く、屋久島（鹿児島県）では3月の月間日照時間の最大値を更新した。

降雪・積雪：降雪の深さ（月合計）、月最深積雪とともに、北海道の一部や中国地方の日本海側などで多かったほかは、平年並または少なかった。

3月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
釧路 0.6
- ・月間日照時間多い方から（時間）
屋久島 149.9
- ・月間日照時間少ない方から（時間）
岩見沢 104.7 浦河 129.0

2006年3月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。